

アジャイル型開発におけるプロジェクト管理の勘所【オンラインライブ】 (4123270)

アジャイル開発を実施してみたものの、従来型のプロジェクト管理技法とは大きく異なり、上手く機能しないことがあります。この講座では、アジャイル開発ならではのプロジェクト管理の勘所を解説します。また、従来型のプロジェクト管理手法であるPMBOKの手法と比較することにより、理解を深めることができます。

開催日時	2024年1月18日(木) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリ	IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
講師	熊野憲辰 氏 (株式会社リフレイン 代表取締役 元ゼリア新薬工業 情報システム部 課長) 平成元年4月 ゼリア新薬工業に入社。入社以来、現在まで情報システム部で勤務 下記の社内システムの設計～実装に携わる。 <ul style="list-style-type: none">取引先EDIシステム医療用医薬品、病院納入システム医薬品 物流システム再構築BI/DWHシステム情報セキュリティ統合マスター管理システム販売管理システム再構築 平成25年9月末、ゼリア新薬を退社。現在フリーで、アジャイルコーチ、UML、データベースモデラーを職とする。
参加費	JUAS会員/ITC: 33,800円 一般: 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	アジャイル型の開発の採用を考えている企業の担当者 ◆受講前提条件: アジャイル型の開発について基礎知識(用語の意味等)がある方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) **【セミナーのオンライン受講について】**

■テキスト

開催7日前を目途に発送 (お申込時に送付先の入力をお願いします)

■開催日までの課題事項

特になし

アジャイル開発を実施してみたものの、従来型のプロジェクト管理技法とは大きく異なり、上手く機能しないことがあります。この講座では、アジャイル開発ならではのプロジェクト管理の勘所を解説します。また、従来型のプロジェクト管理手法であるPMBOKの手法と比較することにより、理解を深めることができます。

■主な内容

1 アジャイル・プラクティス

・プラクティスとは何か

アジャイル方式では、プラクティスという言葉が用いられます

プラクティスとは何なのかを説明します

・アジャイル・プラクティス

アジャイル開発の各種プラクティスについて説明します

2 PMBOKのプロジェクト管理

プロジェクト管理を知るために、そのベースとしてPMBOKを取り上げます

- ・ スコープ
- ・ スケジュール
- ・ コスト
- ・ 品質
- ・ 資源
- ・ リスク
- ・ コミュニケーション

3 アジャイル開発のよくある誤解

アジャイル開発につきまとう誤解について、その内容を解説します

- ・ とりあえず作ってみる
- ・ ドキュメントを作らない
- ・ 少人数で行うから大規模システムは作れない
- ・ アジャイル方式には、適・不適がある

4 アジャイル開発におけるプロジェクト管理

アジャイル開発におけるプロジェクト管理について、PMBOKの主なカテゴリをベースに解説を行います

(1) コスト・スケジュール

- ・ タイムボックスドリブン（アジャイル型）とスコープドリブン（従来型）
- ・ コストとスケジュールの見積もり
- ・ スプリント（タイムボックス）の意義
- ・ スプリントのコツ
- ・ 小口化の本質
- ・ 完了を定義する
- ・ 事前測定（FS）
- ・ ベロシティの測定

(2) リスク

- ・ 曖昧な要件
- ・ 権利と義務
- ・ 要件の可視化技術
- ・ 人員リソースのリスク（スキル不足、人員不足）
- ・ スケジュール、コストのリスク
- ・ 予算との戦い（正攻法と搦め手）
- ・ 技術的リスク
- ・ ベンダーとの契約

(3) 資源

- ・ 開発人員
- ・ ユーザー側人員
- ・ 抵抗者の存在

(4) コミュニケーション

- ・ 主役は誰か
- ・ 会議体
- ・ サーヴァント型リーダーシップ

(5) スコープ

- ・ グランドデザイン
- ・ スコープ全体のモデル化

(6) 品質

- ・ 品質の定義
- ・ 品質を作り込むとは
- ・ テストは、書くもの
- ・ Continuous Integration
- ・ ツールを使いこなす

- ・学習の成果と習得度の関係

5 管理とは

- ・管理とは
- ・「官僚主義」というもの
- ・官僚主義の逆機能
- ・逆機能に陥らないアジャイル開発

6 実務上の疑義についての回答

- ・外部の支援を受ける場合の契約方法－4人で〇カ月、1年としたような契約の場合の作業指示は
- ・納品時のドキュメント
- ・対価の定め方－チケット枚数による契約、毎月請負契約、動いたプログラム数による契約、稼働時間数による精算
- ・プロジェクト計画書はどのようなものか
- ・ユーザ要件の追加等でコストが増加し、良い成果を収めることが出来ていない。その対策は
- ・見積方法
- ・QCDの設定方法
- ・品質管理計画、テスト技法など、どうウォーターフォールからどう変えるべきなのか
- ・完成の定義、スプリント終了基準、リリース判定基準

7 演習

(1)演習1：ストーリーポイントの見極め

具体的なアプリケーションを素材として演習を実施します

そのアプリケーションに対して、

- ・ストーリーの切り出し
- ・ストーリーポイントの設定
- ・ストーリーポイントの基準値の考え方

を演習します

(2)演習2：スプリントでの工夫

具体的なアプリケーションを素材として演習を実施します

そのアプリケーションは、現状のチームの実力では、2～3ヶ月程度かかりそうです

しかし、できるだけ早く、できれば1ヶ月のスプリントで引き渡してほしいという要望があります

どのような工夫が考えられるでしょうか

早期リリースに向けて、考えられる限りの省力化を考察します